

広島県告示第 513 号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和 48 年法律第 110 号）第 5 条第 1 項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第 4 項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成 20 年 5 月 26 日

広島県知事 藤 田 雄 山

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	大阪府大阪市北区梅田三丁目 4 番 5 号 ダイセル化学工業株式会社 代表取締役社長 小川 大介
工場又は事業場の所在地及び名称	大竹市東栄二丁目 1 番 4 号 ダイセル化学工業株式会社大竹工場

2 申請の内容

37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗浄施設 29 基を新設し、1 基の使用の方法を変更し、37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 3 基の使用の方法を変更する。

また、第 4 排水処理施設、第一中和槽、第三中和槽及び第 6 排水処理施設リン処理設備の使用の方法を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法 (その1)

種 類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 2基 (入出荷施設 T-005 (スクラバー), T-011 (ス クラバー))		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗浄 施設 1基 (入出荷施設 T-006 (スクラバー))		
能 力 (1 日 当 た り)		4.0 m ³ 排水		4.0 m ³ 排水		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後 30 日		着手後 30 日		
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後 1 日		完成後 1 日		
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		4時間断続使用 (なし)	
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大
排 出 さ れ る 汚 水 態 状	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		7	5	5	3
	化学的酸素要求量		270	270	48	48
	浮遊物質質量		1	1	1	1
	窒素含有量		0	0	0	0
	燐含有量		0.1	0.5	0.1	0.5
	油 分		0.1	1	0.1	1
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)		各 4.0		各 4.0		
汚 水 等 の 排 出 先		第1排水口		第1排水口		

(その2)

種 類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 2基 (入出荷施設 T-012 (スクラバー), T-016 (ス クラバー))		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗浄 施設 1基 (入出荷施設 T-013 (スクラバー))	
能 力 (1 日 当 た り)		4.0 m ³ 排水		4.0 m ³ 排水	

工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		着手後30日		着手後30日		
	使用開始予定年月日		完成後1日		完成後1日		
使用の 方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		4時間断続使用 (なし)		
	項目		通常	最大	通常	最大	
	排出される 状態 の 汚水	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		5	3	5	3
		化学的酸素要求量		420	420	50	50
		浮遊物質		1	1	1	1
		窒素含有量		0	0	0	0
		燐含有量		0.1	0.5	0.1	0.5
		油分		0.1	1	0.1	1
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)		各4.0	各4.0	4.0	4.0	
	汚水等の排出先		第1排水口		第1排水口		

(その3)

種類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 2基 (入出荷施設 T-014(スクラバー), T-028 (スク ラバー))	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 3基 (入出荷施設 T-019 (スクラバー), T-030 (ス クラバー), T-035 (スクラバー))	
能力 (1 日 当 たり)		4.0 m ³ 排水	4.0 m ³ 排水	
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに	許可後直ちに
	工事完成予定年月日		着手後30日	着手後30日
	使用開始予定年月日		完成後1日	完成後1日

使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		4時間断続使用 (なし)	
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大
排出される汚水状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5	3	7	5
	化学的酸素要求量		68	68	800	800
	浮遊物質		1	1	1	1
	窒素含有量		0	0	0	0
	燐含有量		0.1	0.5	0.1	0.5
	油分		0.1	1	0.1	1
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		各 4.0	各 4.0	各 4.0	各 4.0	
汚水等の排出先		第1排水口		第1排水口		

(その4)

種 類	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (入出荷施設 T-026 (スクラバー))	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 3基 (入出荷施設 T-033 (スクラバー), T-300A (ス クラバー), T-300B (スクラバー))
能力 (1日当たり)	4.0 m ³ 排水	4.0 m ³ 排水
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	着手後30日
	使用開始予定年月日	完成後1日

使用 方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		4時間断続使用 (なし)	
	項目		通常	最大	通常	最大
排出される汚 水等の状態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		7	5	7	11
	化学的酸素要求量		500	500	10	10
	浮遊物質質量		1	1	1	1
	窒素含有量		0	0	80	160
	磷含有量		0.1	0.5	0.1	0.5
	油分		0.1	1	0.1	1
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		4.0	4.0	4.0	4.0	
汚水等の排出先		第1排水口		第1排水口		

(その5)

種	類	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 2基 (入出荷施設 T-1001 (スクラバー), T-1205 (スクラバー))	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (入出荷施設 T-1009、T-1010 共通 (スクラバ ー))
能力 (1 日 当 た り)		4.8 m ³ 排水	4.8 m ³ 排水
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	着手後30日	着手後30日
	使用開始予定年月日	完成後1日	完成後1日

使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		4時間断続使用 (なし)	
	項	目	通常	最大	通常	最大
排出される汚水状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		7	9	7	11
	化学的酸素要求量		110	110	65	117
	浮遊物質質量		1	1	1	1
	窒素含有量		150	158	1,500	1,916.7
	燐含有量		0.5	2.0	0.5	2.0
	油分		0.1	1	0.1	1
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		各 4.8	各 4.8	4.8	4.8	
汚水等の排出先		第2排水口		第2排水口		

(その6)

種	類	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (入出荷施設 T-1101 (スクラバー))	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 2基 (入出荷施設 T-1109 (スクラバー), T-1302 (ス クラバー))
能力 (1日当たり)		4.8 m ³ 排水	4.8 m ³ 排水
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	着手後 30 日	着手後 30 日
	使用開始予定年月日	完成後 1 日	完成後 1 日

使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		4時間断続使用 (なし)	
	項目		通常	最大	通常	最大
排出される 状態の 汚水	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		7	5	7	5
	(単位: mg/l)	化学的酸素要求量	60	60	200	200
		浮遊物質	1	1	1	1
		窒素含有量	0	0	0	0
		燐含有量	0.5	2.0	0.5	2.0
		油分	0.1	1	0.1	1
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)		4.8	4.8	各4.8	各4.8	
汚水等の排出先		第2排水口		第2排水口		

(その7)

種	類	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (入出荷施設 T-1110 (スクラバー))	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (入出荷施設 T-1112 (スクラバー))
能力 (1 日 当 たり)		4.8 m ³ 排水	4.8 m ³ 排水
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	着手後30日	着手後30日
	使用開始予定年月日	完成後1日	完成後1日

使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		4時間断続使用 (なし)	
	項目		通常	最大	通常	最大
排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		7	11	7	9
	(単位: mg/l)	化学的酸素要求量	100	180	11	12
		浮遊物質	1	1	1	1
		窒素含有量	1,975	2,100	150	158
		リン含有量	0.5	2.0	0.5	2.0
		油分	0.1	1	0.1	1
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		4.8	4.8	4.8	4.8	
汚水等の排出先		第2排水口		第2排水口		

(その8)

種	類	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (入出荷施設 T-1201 (スクラバー))	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (入出荷施設 T-1207 (スクラバー))
能力 (1日当たり)		4.8 m ³ 排水	4.8 m ³ 排水
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	着手後30日	着手後30日
	使用開始予定年月日	完成後1日	完成後1日

使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		4時間断続使用 (なし)	
	項目		通常	最大	通常	最大
排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		7	5	7	5
	(単位: mg/l)	化学的酸素要求量	420	420	600	600
		浮遊物質	1	1	1	1
		窒素含有量	0	0	0	0
		リン含有量	0.5	2.0	0.5	2.0
		油分	0.1	1	0.1	1
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)		4.8	4.8	4.8	4.8	
汚水等の排出先		第2排水口		第2排水口		

(その9)

種類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 2基 (入出荷施設 T-1402 (スクラバー), T-1405 (スクラバー))	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (入出荷施設 T-1403 (スクラバー))
能力 (1日当たり)		4.8 m ³ 排水	4.8 m ³ 排水
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	着手後30日	着手後30日
	使用開始予定年月日	完成後1日	完成後1日

使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		4時間断続使用 (なし)	
	項目		通常	最大	通常	最大
排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		5	3	7	5
	(単位: mg/l)	化学的酸素要求量	75	75	420	420
		浮遊物質	1	1	1	1
		窒素含有量	0	0	0	0
		リン含有量	0.5	2.0	0.5	2.0
		油分	0.1	1	0.1	1
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)		各4.8	各4.8	4.8	4.8	
汚水等の排出先		第2排水口		第2排水口		

(その10)

種	類	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (入出荷施設 T-1501 (スクラバー))
能力 (1 日 当 た り)		4.8 m ³ 排水
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	着手後30日
	使用開始予定年月日	完成後1日

使用 方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		4時間断続使用 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排出される 汚水の状態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		7	5
		(単位: mg/l)	化学的酸素要求量	150	150
			浮遊物質	1	1
			窒素含有量	0	0
			リン含有量	0.5	2.0
	油分	0.1	1		
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)		4.8	4.8	
汚水等の排出先		第2排水口			

(その11)

			変 更 前		変 更 後	
種 類			37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (クロトンアルデヒド製造施設 C-1 (K-102 缶出水))			
工期等	工事着手予定年月日		既設		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日				着手後直ちに	
	使用開始予定年月日				完成後直ちに	
使用 方法	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される 汚水等 の状態	化学的酸素 要求量 (単位: mg/l)	30,200	63,000	28,000	60,890

(その12)

			変更前		変更後	
種類			37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (アミン(1)製造施設 G1-1 (K-205 缶出水))			
工期等	工事着手予定年月日		既設		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日				着手後直ちに	
	使用開始予定年月日				完成後直ちに	
使用の方法	項目		通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の状態	窒素含有量	(単位: mg/l)	9,000	18,000	8,800

(その 13)

			変更前		変更後	
種類			37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (ピリジン製造施設 P-16 (K-135 抽出水))			
工期等	工事着手予定年月日		既設		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日				着手後直ちに	
	使用開始予定年月日				完成後直ちに	
使用の方法	項目		通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の状態	化学的酸素要求量	(単位: mg/l)	4,500	4,910	4,050
窒素含有量		9,800		26,200	8,410	24,980

(その 14)

				変 更 前		変 更 後	
種 類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗浄施設 1基 (エポキシド製造実験施設 X-12 (K-161 スクラバー))					
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日			既 設		許 可 後 直 ち に	
	工 事 完 成 予 定 年 月 日					着 手 後 直 ち に	
	使 用 開 始 予 定 年 月 日					完 成 後 直 ち に	
使 用 の 方 法	項 目			通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される 汚 水 等 の 状 態	化学的酸素 要 求 量	(単位: mg/ℓ)	1,654	1,869	1,522.7	1,742.4

(2) 汚水等の処理の方法 (その 1) 第 4 排水処理施設

				変 更 前				変 更 後			
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日			既 設				許 可 後 直 ち に			
	工 事 完 成 予 定 年 月 日							着 工 後 1 日			
	使 用 開 始 予 定 年 月 日							完 成 後 1 日			
使 用 の 方 法	処理前処理後の 汚水等の 汚染状況	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大
		化学的酸素 要 求 量	(単位: mg/ℓ)	1,962	2,110	210.0	348.2	1,956	2,103	209.9	347.8
		窒 素 含 有 量		233	430	94.0	172.0	228	425	92.4	170.0

(その2) 第一中和槽

			変更前				変更後				
工期等	工事着手予定年月日	既設					許可後直ちに				
	工事完成予定年月日						着工後1日				
	使用開始予定年月日						完成後1日				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項目	処理前		処理後		処理前		処理後		
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
		化学的酸素要求量	(単位: mg/l)	811	1,165	811	1,165	792	1,146	792	1,146
		窒素含有量		75	168	75	168	74	166	74	166

(その3) 第三中和槽

			変更前				変更後				
工期等	工事着手予定年月日	既設					許可後直ちに				
	工事完成予定年月日						着工後1日				
	使用開始予定年月日						完成後1日				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項目	処理前		処理後		処理前		処理後		
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
		化学的酸素要求量	(単位: mg/l)	2,469	2,546	2,469	2,546	2,467	2,543	2,467	2,543
		窒素含有量		220	438	220	438	213	432	213	432

(その4) 第6排水処理施設リン処理設備

			変更前				変更後			
工期等	工事着手予定年月日	既設					許可後直ちに			
	工事完成予定年月日						着工後1日			
	使用開始予定年月日						完成後1日			

使用 の 方 法	処理前処理後の 汚水等の 汚染状況	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大
		化学的酸素要求量	(単位： mg/l)	145.3	222.3	144.0	221.0	145.2	222.2	144.0	221.0
		窒素含有量		33	60	32.5	59.1	32.7	59.5	32.5	58.1

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成 20 年 5 月 26 日から平成 20 年 6 月 16 日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境部環境保全課及び広島県広島地域事務所厚生環境局環境管理課並びに大竹市都市環境部環境整備課